

H30年度 館林市立第四小学校 第1回学校評価一覧表

1学期末のアンケートでは、たいへんお世話になりました。H30年度は、アンケート調査の方法や内容を一新し、新たな視点で学校の自己評価を行いました。アンケートの結果は、おおむね良い評価をいただいておりますが、目標に達しなかった項目については、全職員で問題を共有し、原因を分析するとともに改善策を立案しました。その他の項目については、現在の取組を継続し、効果を検証します。

今後も、さらによい子どもたちを育てるため、職員一同努力していきます。

グラフ中の「当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計が、「具体的数値目標」に達していれば、「A」評価となっています。以下、10%刻みで、「B」「C」「D」としています。

羅針盤			学校の取組	評価	達成度	0% 20% 40% 60% 80% 100%				改善策
評価対象	評価項目	具体的数値項目				0%	20%	40%	60%	
I 保護者との連携	1 学校は、保護者への連絡をきめ細かく行っていますか。	①「学校や子どもの成長の様子が分かる」と答えている保護者が90%以上である。	・学校だよりや学年だより、週予定表を定期的に発行して、学校や学級の子どもの様子を保護者や地域へ発信する。 ・連絡帳や電話連絡等により保護者との連絡を密にするとともに、随時個人面談や家庭訪問を実施し、保護者との情報交換に努める。	A	5.4%	44.6%	50.8%	4.6%	0.0%	評価対象 I では、①②において目標を達成しましたので、今後も現在の方策を継続して実施します。しかし、③については、以下の改善策に取り組んでいきます。 ③授業参観の懇談会では、事前にアンケートを行い、個人面談の時間を確保します。また、毎月「学校相談日」を設定し、相談しやすい体制をつくりまします。
	2 学校は、保護者が学校を理解したり、協力したりしやすい環境をつくっていますか。	②「授業参観や保護者会に参加しやすい」と答えている保護者が90%以上である。	・親子参加型の授業参観を取り入れ、多くの保護者にとって、関心の高い教科等の授業を行う。 ・子ども全員が発表できる授業展開を設定する。	A	3.8%	41.5%	52.3%	6.2%	0.0%	
	3 学校は、学習や生活、進路などについて保護者の相談に応じていますか。	③「学校は連絡や相談がしやすい」と答えている保護者が90%以上である。	・家庭との連絡を密にし、良好な関係づくりに努める。	B	-3.8%	36.9%	49.2%	13.8%	0.0%	
II 確かな学力	4 学校は、「分かる授業」を提供していますか。	④「授業が分かる」と答えている子どもが80%以上である。 ⑤「教師は授業内容や指導方法を工夫するなど、授業改善に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・日々教材研究に努め、子どもにとって「分かる授業」を行う。 ・少人数指導やTTによる指導、習熟度別指導など指導形態や指導方法を工夫する。 ・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を充実させる。 ・学力向上コーディネーターを中心に、全国学力学習状況調査などの結果から本校の課題を明らかにし、効果的な指導を行う。	A	17.0%	66.7%	30.3%	3.0%	0.0%	評価対象 II では、④⑤で「A」評価となりましたので、今後も現在の取り組みを継続して行きます。また、⑥⑦で「B」評価となりましたので、以下の方策を実施します。 ⑥⑦「学力向上だより」を配布したり、「家庭学習パワーアップ週間」を実施したりして、家庭学習の大切さや学習の取り組み方をお知らせします。
	5 子どもは、基礎・基本が定着していますか。	⑥「子どもに基礎・基本が身に付いている」と答えている保護者が90%以上である。	・「ステップアップタイム」において、補充学習や発展学習に取り組みさせる。 ・朝行事で「読書」「音読」「作文」を行う。	B	-2.3%	27.7%	60.0%	12.3%	0.0%	
	6 子どもは、学習したり読書したりする習慣が身に付いていますか。	⑦ 家庭学習(宿題を含む)や読書(週平均して)1日あたり学年×10分(1,2年は30分以上)行っている子どもが90%以上である。	・毎日、自力解決できる宿題を出し、家庭学習の習慣を付けさせる。 ・「家庭学習カード」を利用し、計画的に取り組めるようにする。	B	-0.6%	72.7%	16.7%	10.6%	0.0%	
III 豊かな心	7 子どもは、すすんであいさつしたり、はっきり受け答えしたりすることができますか。	⑧ すすんであいさつができる子どもが90%以上である。	・児童会による「全校あいさつ運動」や「あいさつ通り(ハイタッチのあいさつ運動)」を実施する。 ・あいさつの仕方(立ち止まる・帽子を取る・目を見て、元気な声を出しながら一礼をする)を、全学年で指導する。	A	3.8%	69.2%	24.6%	6.2%	0.0%	評価対象 III 「豊かな心」では、⑧⑨⑩⑪⑬で「A」評価となりました。しかし、⑩では、「そう思う」と答えた方は、わずかに15%で、十分とはいえない状況です。教職員の人権意識を見直すとともに、学級の温かい人間関係づくりや「思いやり」「友情」について、しっかり指導していきます。
		⑨ 名前を呼ばれたら「はい」と返事ができる子どもが90%以上である。	・学校生活の中で具体的な場面に即して「はい」という返事ができるように繰り返し指導する。 ・「返事の強化週間」を設定する。	A	3.9%	69.7%	24.2%	6.1%	0.0%	
	8 子どもたちの間に、いじめのない温かな人間関係が育っていますか。	⑩「楽しく学校に通っている」と答えている子どもが90%以上である。 ⑪「学校はいじめの発生予防に努め、いじめを解消している」と答えている保護者が90%である。	・学校生活の中で、一人一人が活躍できる場を意図的につくり、達成感、成就感を味わわせる。 ・道徳、学活を充実させ、より好ましい人間関係づくりに努め、あたたかいクラスの雰囲気をつくる。 ・日常の観察や「学校生活アンケート」を活用し、いじめの早期発見、早期対応に努める。 ・いじめは、校内で情報共有し、組織的・継続的に指導し、100%解消する。 ・児童運営委員が主体となって「いじめ防止スローガン」をまとめ、いじめ防止活動を行う。	A	3.9%	68.2%	25.8%	4.5%	1.5%	
			A	0.4%	15.4%	75.0%	7.7%	1.9%		

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

グラフ中の「当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計が、「具体的数値目標」に達していれば、「A」評価となっています。以下、10%刻みで、「B」「C」「D」としています。

羅針盤			学校の取組	評価	達成度	0% 20% 40% 60% 80% 100%					改善策
評価対象	評価項目	具体的数値項目				0%	20%	40%	60%	80%	
III 豊かな心	8 子どもたちの間に、いじめのない温かな人間関係が育っていますか。	⑫「子どもは相手の立場や気持ちを考えた、親切的な言動がとれる」と答えている保護者が90%以上である。	・道徳や人権学習を中心に、全教育活動を通じて人権意識を高める指導を行う。 ・時と場に応じた正しい言葉づかいができるように指導する。 ・縦割り班活動(清掃班、登校班、給食)を行い、相手を思いやる心や態度を養う。	B	-8.5%	24.6%	56.9%	18.5%	0.0%	⑫では、大きく目標を下回りましたが、教科化した道徳の授業や人権学習を充実させることで、子どもたちの心の教育に努めていきます。 ⑫授業参観で全クラス思いやりに関する道徳の授業を公開し、親子で考える時間がもてるようにします。	
	9 学校のきまりや約束を守って生活する生徒が育っていますか。	⑬ 忘れ物をしないように毎日道具をそろえられる子どもが90%以上である。	・使用する学用品の連絡を確実にし、学習道具をそろえるよう指導する。 ・教室のロッカーや机の中などを整理・整頓させる。	A	0.9%	59.1%	31.8%	7.6%	0.0%		
IV 健康・体力	10 子どもたちは、規則正しい生活ができていますか。	⑭「子どもは、十分な睡眠をとっている」と答えている保護者が90%以上である。	・睡眠と体の成長とを関連付けた授業を充実させる。 ・就寝や起床時刻、食事時間について見つめさせ、生活リズムに関する指導を行う。	B	-2.3%	46.2%	41.5%	12.3%	0.0%	評価対象IVでは、⑭睡眠時間の確保が課題であることが分かりました。近年、小学生でもスマホの所有率が上がり、インターネットで動画サイトやSNSにアクセスする機会が増えているという統計結果があります。そこで、以下のような方で睡眠時間を確保していきます。 ⑭11月に全校生徒を対象に、「健康ステップアップ週間」を実施し、睡眠時間の確保を中心に、生活習慣を見直します。	
		⑮「子どもは、毎日朝食を食べている」と答えている保護者が90%以上である。	・食事と体の成長を関連付けた授業を充実させる。 ・栄養士による朝食の大切さを扱った栄養指導を実施する。	A	5.4%	73.8%	21.5%	4.6%	0.0%		
	11 学校は、日常的に運動に取り組めるよう、時間や場などの環境を整えていますか。	⑯ 体育の授業以外で週3日以上、からだを動かして遊んだり、運動したりしている子どもが80%以上である。	・陸上・持久走・なわとびの練習時間を、年間を通して計画的に20分休みや始業前に設定する。 ・鉄棒カード、縄跳び等のカードを用意し、自主的に練習ができるようにする。	A	9.4%	72.7%	16.7%	6.1%	4.5%		
V 安全確保・施設設備	12 学校施設の安全管理を徹底していますか。	⑰「学校は、教室や校庭など、学校施設は安全に管理されている」と答えている保護者が90%以上である。	・毎月の安全点検を徹底し、不具合を発見した場合は、迅速に修繕する。	A	5.4%	26.2%	69.2%	3.1%	1.5%	評価対象Vでは、すべての項目で目標を達成しましたので、今後は現在の取組の充実させていきます。 ⑰「キャリア教育だより」の内容を工夫して、親子で将来の夢や仕事を話し合う機会をつくります。	
	13 学校の安全対策を徹底していますか。	⑱「学校は、地震や火災などの災害や不審者対応などを想定した訓練を実施し、防災・防犯教育に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・警察署、消防署と連携して、実際の事案や災害を想定した不審者対応、火災・地震の避難訓練を充実させる。	A	6.9%	52.3%	44.6%	3.1%	0.0%		
		⑲「学校は、交通安全教室を実施したり、安全な登校の仕方について指導し、安全教育に努めている」と答える保護者が90%以上である。	・警察署と連携して、参加体験型の交通安全教室を実施する。 ・学級活動において、安全な歩行の仕方について指導する。	A	8.5%	52.3%	46.2%	1.5%	0.0%		
		⑳「学校は、保護者・地域と連携して通学路の点検やパトロールを行い、通学路の安全確保に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・PTAと連携し、定期的に通学路点検を実施し、登下校時の安全確保に努める。	A	0.8%	43.1%	47.7%	9.2%	0.0%		
VI 進路・生き方	14 児童が自らの将来について考える機会を設けていますか。	⑳ 子どもの将来の夢や希望について、学期に1回以上話し合っている保護者が80%以上である。	・総合や社会科、学級活動などを中心に、自分の将来や進路について考える活動を意図的に設定し、キャリア教育を充実させる。	B	-6.2%	27.7%	46.2%	21.5%	4.6%	評価対象VIは、小学生が自分事として意識する機会が少ないことから課題となっている項目です。今年度は、上記のような取組で、意識付けを図ります。	
VII 教育資源の活用	15 地域の教育資源を有効に活用できるようにしていますか。	㉑「学校は、地域の人たちと連携し、教育活動の充実を図っている」と答えている保護者の80%以上である。	・「コミュニティスクール」設置を生かして、家庭・地域と連携した学習活動や体験活動の充実を図る。	A	16.9%	49.2%	47.7%	3.1%	0.0%	評価対象VIIでは、コミュニティスクールの活動へたくさんの方からご協力いただいていることから高い評価をいただきました。今後も学習活動の充実に向けて努めていきます。	

*「自由記述欄」への回答は、「四小だより」11月号に掲載いたします。

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない